

# 孺恋高原キャベツの生産

地域おこし協力隊の松田勇吹です。

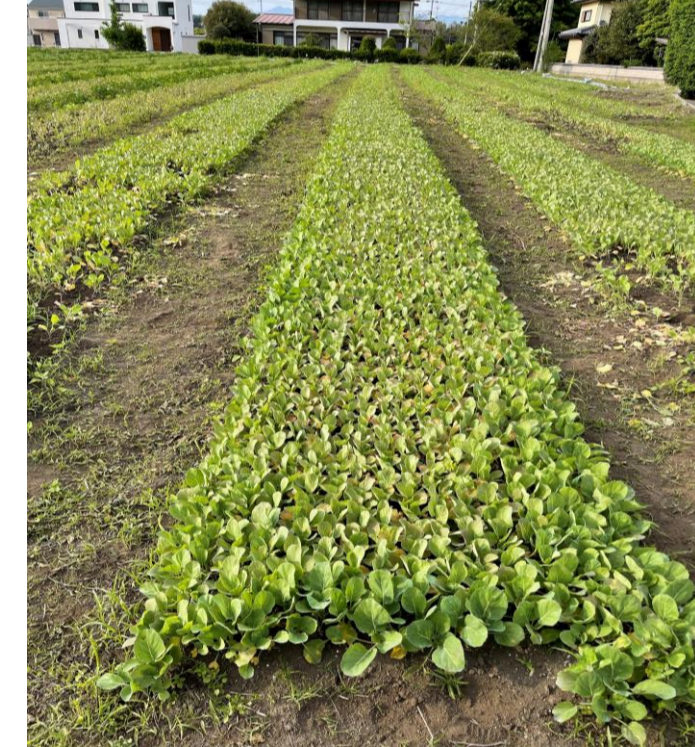
私は2021年の4月より孺恋村のキャベツ農家さんのもとでキャベツの生産業務に携わらせていただいています。地域おこし協力隊の3年間で農家としての技術を磨き就農後は孺恋村の広大な地を活かしキャベツを中心に多品目の野菜の生産、畑の面積を増やし孺恋村のキャベツ生産日本一の継承を目標に業務に取り組んでいます。

ですが今次々に農業をやめ農業を継ぐ方がいないのが現実です。孺恋村のキャベツを知ってこれからの孺恋村の農業を支えてくれる方が増えるように農家として新鮮できれいなキャベツを出荷していきたいと思っています。

## キャベツ農家の業務の流れ

11月中旬から土壌くん蒸作業をはじめ種まきの準備を始めます。

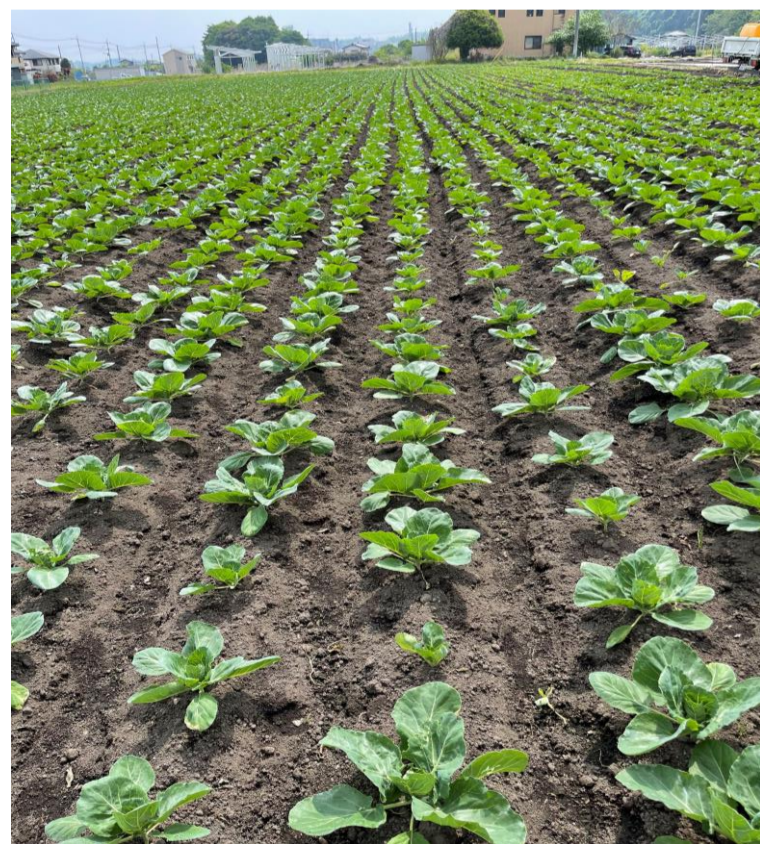
1月種まきをします（種をまき終わったら上から寒冷紗をかけます）



種が割れ苗になったら畑に畝を作り定植作業に入ります。

定植作業はプランターに従業員が乗り苗を綺麗に植えていきます。

苗がある程度大きくなったら除草剤をまき雑草をからしていきます。



一連の作業が終わったらキャベツの大きさや状態（病気など）を見て

トラクターで消毒をしていきます。（約4回ほど）

その後収穫作業に入りスーパーなどに出荷されます

